

Bösendorfer

ベーゼンドルファーアーティスト
富岡紀香
ピアノリサイタル

ウィーンを愛した
作曲家たち

モーツァルト：2つの幻想曲

W.A.Mozart: 2 Fantasiën

ニ短調 K.397 d-moll K.397

ハ短調 K.475 c-moll K.475

モーツァルト：きらきら星変奏曲 K.265

W.A.Mozart: 12 Variationen über ein französisches Lied

"Ah, vous dirai-je, maman" K.265

ハイドン：アンダンテと変奏曲 ヘ短調 Hob.XVII:6 作品83

J.Haydn: Andante con variazioni f-moll Hob.XVII:6 Op.83

ブラームス：幻想曲集 作品116より

J.Brahms: Fantasiën Op.116

第4番 間奏曲 ホ長調 Nr.4 Intermezzo E-dur

第6番 間奏曲 ホ長調 Nr.6 Intermezzo E-dur

第7番 奇想曲 ニ短調 Nr.7 Capriccio d-moll

シューベルト：即興曲 作品142より

F.Schubert: Impromptus D935 Op.142

第2番 変イ長調 Nr.2 As-dur

第3番 変ロ長調 Nr.3 B-dur

曲目・演奏順は変更になることがあります

使用ピアノ：ベーゼンドルファー290 インペリアル

SAYAKA
TOMIOKA
PIANO RECITAL

2024 10/19 [土] 14:00開演 (13:30開場)

ヤマハホール (ヤマハ銀座店7階) ※未就学児のご入場はお控えください

全席指定 一般 5,000円
学生 2,500円

前
売

チケットぴあ t.pia.jp (Pコード 273-900)

CNプレイガイド www.cnplayguide.com 0570-08-9990

カンフェティ www.confetti-web.com 0120-240-540



チケットぴあ

共催：ベーゼンドルファー・ジャパン

後援：オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム東京

和光学園 桐朋学園音楽部門同窓会 東京藝術大学音楽学部同声会

マネジメント・ご予約・お問合せ：Shin-En 新演コンサート 03-6384-2498 www.shin-en.jp





富岡 紀香 (とみおか さやか)

神奈川県出身。幼稚園入学から中学校までの12年間を私立和光学園に学ぶ。桐朋学園子供のための音楽教室を経て、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学ピアノ科を卒業。桐朋においては奈良場恒美氏に師事。ソレイユ音楽コンクール優勝及び音楽現代新人賞、かながわ音楽コンクールシニアピアノ部門準優勝、ISAアカデミーコンクール(オーストリア)にて優勝および若手ピアニスト賞を受賞ほか、桐朋学園在学中より国内外の様々なコンクール、オーディションに入賞。桐朋学園大学卒業後に渡奥し、ウィーン国立音楽大学演奏家課程に首位入学。故ノエル・フローレス氏のクラスで学び、同課程を首席修了。帰国後は東京藝術大学音楽学部別科に在籍し江口玲氏のクラスに在籍。藝大修了後より徳島文理大学に在籍し、ベーゼンドルファーアーティストであるジュゼッペ・マリオッティ氏に師事。2012年よりプロオーケストラとのピアノ協奏曲共演のほか、紀尾井ホール、ヤマハホールなどの国内の主要ホールでのソロサイトを定期的に開催。オーストリアにおいては国営放送局ORFにてテレビ、ラジオなどにも出演。ウィーンにゆかりのある作曲家の曲を中心に演奏活動を行う傍ら後進の指導も行う。トークコンサートや公開レッスン、ラジオやメディア出演なども多数行い好評を得ているほか、コンクールの審査員も努める。現在は国際的ピアニストの深沢亮子女史に師事。日本音楽舞踊会議、日本演奏連盟会員。2021年7月にオーストリア・ベーゼンドルファー社より「ベーゼンドルファーアーティスト」の称号を受称。昨年11月にはウィーン楽友協会内にあるベーゼンドルファーサロンにてサロンコンサートを行い好評を得る。

富岡紀香HP



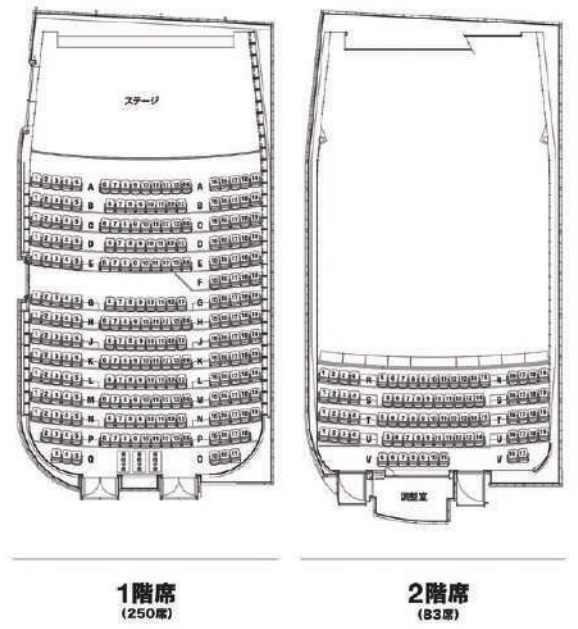
ヤマハホール

東京都中央区銀座7-9-14
ヤマハ銀座店7F~9F



ACCESS

- 東京メトロ銀座線/丸ノ内線/日比谷線 「銀座」駅 A3出口より徒歩 約5分
- JR線/都営地下鉄浅草線/東京メトロ銀座線 「新橋」駅 銀座口より徒歩 約7分



Bösendorfer ベーゼンドルファーピアノについて



ベーゼンドルファー社はモーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、リストなど、偉大な作曲家たちが活躍した「音楽の都ウィーン」で1828年に設立されました。“世界三大ピアノ”の中でも最も長い歴史を持ち、190年以上経った今もなお、伝統工法を守りながら、オーストリアの工場では1台1台手作業で製作されています。ベーゼンドルファーのあたたかな音色と繊細な“至福のピアノニッシモ”は時代を越えて愛され続けています。



本公演使用ピアノ：
ベーゼンドルファー Model290 Imperial